



巧 巧みなばちさばきで「津軽じょんがら節」などを披露し、観客の心を揺さぶった松田隆行さん

響け 歌声 ふるさとへ

岩手日報創刊130周年の記念事業「日報130コンサートふるさと」(普代村、村教委共催)が11月4日、村社会体育館で開かれ、園児や普代中吹奏楽部、「てほかい合唱団」らが多彩なステージを展開しました。また、マンドリ

ンシンガーの清心^{きよみ}さん、津軽三味線奏者の松田隆行さんがプロの歌声や演奏を披露し約450人の観客を魅了。最後は出演者と観客が「ふるさと」を合唱し、かけがえのないふるさとへの思いを胸に歌声を響かせました。



響 てほかい合唱団(普代村)、コールわさらび(野田村)、しゃくなげ合唱団(田野畑村)が息の合ったハーモニーを響かせました



奏 1年から3年生までの部員が一つになって、見事な演奏を披露した普代中吹奏楽部。一生懸命な姿に拍手が鳴り止みませんでした



躍 普代児童館年長組は「うんとこ よさこいソーラン」を元気に踊り、オープニングを飾りました



熱 深渡宏村長ら男性グループ4人は村をイメージした歌「おれの北緯40度」を熱唱しました



終 コンサートの最後は観客と出演者全員が一体となって「ふるさと」を歌い感動のフィナーレを迎えました



演 昭和59年、普代小学芸会で披露した宮沢賢治作の「ツェねずみ」を復活させ熱演するてほかい合唱団と賢治を語る普代会のメンバー



感 約450人の観客は多彩なステージに感動。盛んに拍手を送ります



透 透明感のあるマンドリン演奏と歌声を響かせ観客を魅了した清心さん